

活動 オクラ栽培

野菜が生長していく様子を見たり、葉や花の変化にも興味や関心をもったりする。気づいたことや感じたことを友達や保育者に伝えたり、一緒に喜んだりしながら収穫を楽しむ。

準備したもの 絵本、写真、土、オクラの種、肥料、じょうろ等

○活動内容

園庭の花壇の花や幼児クラスの野菜の苗に興味・関心を持つ子が多かったので、あおば組でも土づくり、種植から行ない、簡易プランターでオクラを育てた。

○保育者の問いかけやアプローチ

緑の野菜が苦手な子が多かったので、野菜クイズをしたり、絵本や写真でオクラの生長過程を見せたりして、野菜に興味を持ってもらう。

○子どもの様子

種を植えてから、毎日水やりを楽しみにしていた。芽が出ていることに気付くと友だちや保育者と喜び合う姿が見られた。水遊びをしながらもオクラの水やりを意欲的に行なっていた。

芽は生長するもののなかなか花が咲かず、「どうしてオクラ出来ないのかな」と不思議がったり悲しそうにしたりする子どもたちもいた。

4か月後に少しずつオクラの実がなると、「オクラあったよ」「ぼくが給食室に持って行く」と収穫を楽しみにしていた。オクラを触ると「ザラザラする」「ちくちくする」と感じたことを言い合ったり、感触を楽しんだりしていた。給食でオクラが出るのを毎日のように楽しみにしていた。



振り返り

天気や気温の影響なのか、5月に種植えを行なったが、花が咲くまで時間がかかり、収穫が秋になってしまったが、時間がかかった分、子どもたちとたくさんの喜びを共有できた。また、長期間にわたってオクラの観察を楽しむことができた。種から野菜を育てて生長を見ていったことにより、収穫を楽しみにしたり、給食で出してもらおうと意欲的にオクラを食べるようになったり、食育にもつながったと思う。